1面からのつづき

賞者八十一名を決定した。

なお、表彰式は、来る五月二十日(土)、明治神宮参集殿において行われる予定である。

(敬称略)

◇善行金章(十八名)

(北海道) 中山万喜男、齋藤博 **(宮城県)** 渡邉俊悦 **(群馬県)** 藤巻晃彦、林昌枝 **(千葉県)** 安藤元作 **(神奈川県)** 髙井哲 **(山梨県)** 長田玉夫 **(岐阜県)** 纐纈紀代 **(愛知県)** 酒井昭三 **(大阪府)** 村田紘一、信田邦彦 **(兵庫県)** 山本和子 **(和歌山県)** 大東勇 **(広島県)** 薬本光明 **(香川県)** 白川盛幸 **(福岡県)** 貞刈惣一郎、山中洋一

◇善行銀章(八十一名)

(北海道) 西澤芳雄、古谷勇一 **(青森県)** 中村金雄、加川幸男、生田鉄美、鎌田正勝 **(岩手県)** 芳賀博典、高橋英正、菊地勝一 **(宮城県)** 加藤正重、四竈亮松、野中孝三 **(山形県)** 安野高子、安野久雄 **(栃木県)** 根本孝司 **(群馬県)** 梁瀬久雄、田村恒夫、後藤康子、今井利郎、久松一夫、木暮高也、梅澤キヨ子、津久井光一、中村弘志 **(千葉県)** 宮﨑豊 **(東京都)** 田中總子、井出勝行、木村茂、尾花秀雄、浦野秀樹、平岩宏子、髙山喜一郎、毛利満里子、椋代操、大越恒男、木村肇 **(神奈川県)** 新井久三、酒井清、村澤邦雄 **(山梨県)** 勝村ケサエ、平出清佐久、市川孝次 **(長野県)** 井堀由み **(石川県)** 西尾雅行 **(福井県)** 中川満 **(静岡県)** 荻澤章男、松村剛 **(愛知県)** 浅野香代子、因田和夫、田中光代、山本正一 **(滋賀県)** 上田利明 **(大阪府)** 守屋末一、林泰史 **(兵庫県)** 下陸武、比嘉尚子、高木實生、佐竹弘 **(岡山県)** 安井嘉美 **(山口県)** 伊藤俊雄 **(香川県)** 北慎一、大野勝 **(福岡県)** 森義江、山口捷海、松葉征次、江口俊幸、坪祢千鶴子、野村光春、植田芳滋子 **(佐賀県)** 藤元秀幸、浜久保正志 **(長崎県)** 永野博毅、藤井喜久夫、池田陽子、野口健治 **(熊本県)** 九谷新吾 **(大分県)** 加藤孝介、泥谷郁哉、山崎勝利、佐藤満洋 **(宮崎県)** 田下四郎

支部だより

東京都新宿支部

新宿支部の総会及び祝賀会の開催

三月四日(土)一六:〇〇から日本善行会新宿支部の総会が、新宿駅西口「三国一アイランドイッツ店」において支部会員等十二名が参加して開催されました。

勝野支部長から昨年夏の支部総会以降の支部の活動や本部の最近の状況等について報告があり、新宿支部の今後の活動等について意見交換が行われました。

また、会員の秋田一郎都議や下村治生新宿区議、桑原洋平新宿区議から最近の都政や新宿区の抱える課題などについて説明があり、日本善行会新宿支部の果たすべき役割などについても話題となりました。

総会に引き続き、昨年秋の善行表彰受賞者の祝賀会が開かれ、和やかな懇親の場となりました。

今後支部の様々な活動を一層充実させていくことを確認して閉会しました。

兵庫県支部

平成二十九年支部主催新年会厳粛に和やかに開催

兵庫県支部は一月二十九日(日)十一時三十分より支部主催で会場設定と進行企画を今年は東播ブロックの担当で、兵庫県明石市の子午線の通る城下町と世界一の吊橋がある明石海峡大橋を望む『クリーンヒルホテルア明石』で、今年度は東播ブロックの担当で企画と開催実施が行われ、県下四ブロックから会員五十一名が参加し開催されました。

会場に国旗と善行会旗が掲揚され国歌斉唱と世界平和と物故会員に黙祷を捧げられ、早乙女支部長は開会の挨拶で、今年は善行会の創立八十周年に当たり本部総会と共に記念式典が東京都で開催される、又、兵庫県支部は、全国支部で二番目の会員を有し、県下を唯一四ブロック制の運営をしている支部としてその位置付けを述べ、共に仲良く、善行活動の輪を広げて行こうと語り、会員相互の連携と懇親を深め、出席会員が全員記念写真に治まり盛会裡に新年の集いを終わりました。

(一社)日本善行会兵庫県支部新年会 H29.1.29 於 明石グリーンヒルホテル

大分県大分支部

平成二十八年度秋季善行表彰伝達式並び懇親会開催

平成二十八年十二月二十一日(水)十六時から大分市長佐藤樹一郎様を始め大分市議会議長永松弘基様、大分市社会福祉協議会会長右田芳明様を迎え、大分市内の「豊の国健康ランド」において開催いたしました。

本年度は十二名の方が受賞され、緊張した面持ちで着席されておりました。司会は、山﨑勝利事務局長が務め、開会の挨拶を立川寿事務局次長が行いました。伝達式の前に日本善行会の目的を読み上げ、伝達式に入りました。

まず、一人ひとりの名前、受賞理由を紹介し、支部長が表彰状を読み上げ伝達致しました。全員の表彰状伝達が終わり、松井猛支部長の挨拶、大分市長の祝辞、市議会議長の祝辞、社会福祉協議会会長の祝辞、長年にわたる社会貢献活動に対しねぎらいの言葉を頂きました。

次いで祝電が披露され、最後に、ご来賓三名の方を受賞者が囲み、それを正会員の皆さんが囲む形で全員の集合写真を取り閉会となりました。

続いて懇親会の会場に移動して十七時より始まり、立川寿事務次長の司会、松井猛支部長の挨拶、乾杯のご発声を顧問であり、「豊の国健康ランド」のオーナーでもあります山内光生さんの音頭で懇親会となりました。

しばらく歓談、頃合いを見て司会者から、受賞者皆さんの自己紹介、続いて会員皆さんの自己紹介、歌に踊りと芸達者な皆さんの頑張りで最後まで楽しいひと時でした。

最後に、万歳三唱して閉会となりました。

香川県支部

交通死亡事故防止活動に参加

香川県の人口当たりの交通死者の全国ワースト上位二位から脱却するため、交通安全パレードと交通安全キャンペーンに香川県支部会員が参加しました。

去る十二月十六日に実施された交通安全パレードの出発式は、多度津町高齢者交通安全協議会長、多度津町長、丸亀警察署長、多度津交通安全協会長の挨拶の後、西村支部長が善行会の活動の紹介を込めた交通安全パレードの激励メッセージを送り、日本善行会の知名度の向上を図りました。

なお、行進に当たっては、JR多度津駅付近1・3Km程の道のりを、西村支部長(全国交通指導員)がパレードの先頭に立って、約百二十名の参加者(香川県支部会員三名を含む)を先導して安全な行進に誘導しパレードは成功裡に終了されました。

また、三日後の同月十九日の多度津安全協会と多度津安全運転管理者協議会共催の年末年始交通安全県民運動キャンペーンは、地元自治体や警察署が加わり、交通量の多い交差点付近において、約百五十名の参加者の中に香川県支部長を含め四名も協力して、ドライバーに交通安全チラシと「アンパン」を配り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践・習慣の徹底が図られました。

「第七回日本善行会創立八十周年記念事業準備委員会」及び「第五回八〇年のあゆみ編集委員会」

「第七回日本善行会創立八十周年記念事業準備委員会」及び「第五回八〇年のあゆみ編集委員会」が三月二十一日に開催された。

「準備委員会」では、六月に迫った八〇周年記念式典及び祝賀会等について、現在までの準備状況や今後の段取り等について検討が行われた。

また、「あゆみ編集委員会」では、「八十年のあゆみ」の原稿の進捗状況、今後の編集作業等について検討された。

次回の両委員会は、四月二十四日に開催することとなった。

お知らせ

▽平成二十九年度春季・特別善行表彰式

〈日時〉五月二十日(土)十三時半～十五時半

〈場所〉東京都渋谷区明治神宮参集殿

▽定期総会

〈日時〉六月二十七日(火)十三時～十四時

▽創立八十周年記念式典及び祝賀会

総会終了後～十七時

〈場所〉東京都新宿区グランドヒル市ヶ谷

■訂正とお詫び

三月号一面の勝野副会長の記事中、旧首相官邸での表彰式が昭和四十年代とされていましたが、正しくは、昭和二十九年秋季から昭和三十七年秋季です。お詫びして訂正いたします。

善行川柳

選者　東　逸平

○よき社会　健康長寿の　妙薬を

北海道　齊藤　勉

評／不眠症の妙薬やら、肩凝りに効く健康食品やら、眼がどんどん良くなる薬やら、今や健康食品ブームですが、ずばり健康食品の妙薬と謳ったものは聞かないですね。それと選外の句もそうですが、フレーズが固いですね。川柳は肩肘張って聞かせるものでも、読ませるものでもなく、呟きですよ。呟きは隣の人には、聞こえるかもしれないし、かといって特に双方が気を使うこともない。そんなもんですよ。これが川柳の極意ですよ。

○さしのべよ　その一歩から　声かけよ

静岡県　真野　和代

評／いいですね。自殺志願者が増えています。必ず小さな胸に大きな悩みを抱えきれずに歩いてきたのでしょう。自殺に至るその前に、その前に暖かな声かけがあれば―。

○時忘れ　話し上手に　聞き上手

香川県　丸野　忠義

評／ほのぼの呟きと言いますか、福祉施設や病院に来る「話しボランティア」のひとこまが浮かびます。川柳は、気張らずに分かりやすい言葉で、作りましょう。